

山陽小野田市 GIGAスクール構想関連の情報収集支援

令和4年12月度



株式会社ジェイハウス BRM事業部 〒699-1311 島根県雲南市木次町里方30-2

TEL : 0854-40-0620 FAX : 0854-42-5012 MAIL : csr-info@j-house.co.jp <https://www.j-house.co.jp>

目次

1. **StuDX Style 特集**
2. **情報モラルサイトのご紹介**
3. **ICTに関する講義動画のご紹介**
4. **ロイロノート活用法**
5. **Chromebook 機能のご紹介**

1. StuDX Style 特集

◆GIGAスクール構想を取り組むためのヒント

GIGAスクール構想が始まって3年が経とうとしていますが、取り組むべきことはまだまだたくさんあります。端末を活用する中で課題とされる内容について、有識者の先生へインタビューをする特集がご紹介されています。

タイトル	▼URL	内容
GIGAスクール構想×家庭学習 (信州大学 佐藤和紀先生)	https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/39.html	<ul style="list-style-type: none">・端末の持ち帰りが必要な理由とは？・端末を持ち帰って家庭学習のできる課題とは？・端末を家庭学習に活用する良さとは？・端末を家庭で活用することによって起こった児童・生徒の変容とは？・端末を持ち帰って家庭学習で活用する上で配慮すべきことは？
GIGAスクール構想×保護者との連携 (山梨大学 三井一希先生)	https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/321.html	<ul style="list-style-type: none">・学校で活用を進めている1人1台端末について、保護者の理解が必要な理由・GIGAスクール構想2年目、保護者のICTに対する意識に変化・保護者の理解を得られるように進めていくポイント・保護者に理解してもらうために取り組んでいる具体的事例・保護者との連携をさらに進めていく上で大事なポイント

“『端末を持ち帰ることで家庭学習でも横のつながりが生まれる。ルールは端末を使いながら合意形成していく。』”

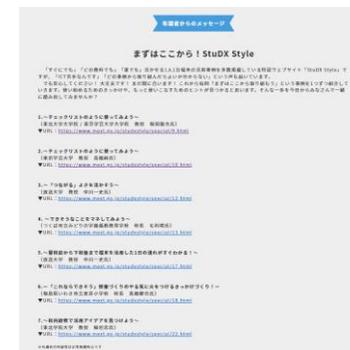
(引用：StuDX Style 特集[有識者インタビュー] (信州大学 佐藤和紀先生) <https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/index.html>より)

◆有識者の先生からのメッセージ

「ICTが苦手…」と感じる先生方へ使い始めるためのきっかけや、さらに使いこなすためのヒントの事例がご紹介されています。

情報収集支援4月号でご紹介したStuDX Style HPTトップの「つながる」シリーズへリンクされています。

<https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/38.html>

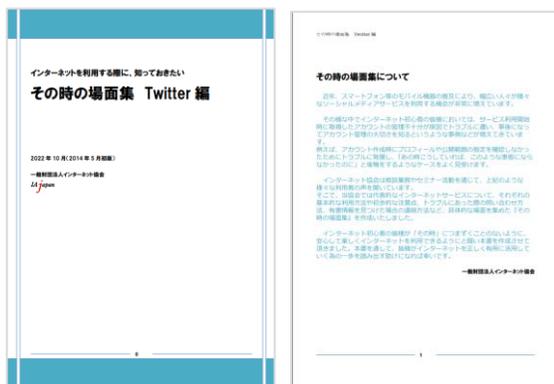


2. 情報モラルサイトのご紹介

◆インターネットを利用する際に、知っておきたい『その時の場面集』

LINE、Instagram、TikTok …最近の子供たちが利用している各SNSについてそれぞれの利用方法や注意方法等、具体的な場面を集めた「その時の場面集」がご紹介されています。

<https://www.iajapan.org/bamen/>



【構成例】

1. サービス概要
2. 登録可能な年齢
3. アカウント登録をしたい時
4. 公開範囲の設定をしたい時
5. アカウント情報を編集したい時
6. パスワードを忘れた時
7. アカウントを削除したい時
8. アカウントを復元したい時
9. 自分の書き込みを削除したい時
10. 他人の書き込みを削除したい時
11. なりすましを受けている時
12. ハッキングを受けている時
13. もっとセキュリティについて知りたい時
14. 利用規約を確認したい時
15. プライバシーポリシーを確認したい時
16. 削除ポリシーを確認したい時
17. 問い合わせをしたい時

主要SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の年齢制限はご存じですか？



※Youtube……保護者の管理によりYoutubeKidsは利用可能(授業での利用有無については自治体によって判断が分かっている)
※LINE……20歳未満は親権者などの同意を得たうえで利用(18歳未満のユーザーはID検索が利用不可)

3. ICTに関する講義動画のご紹介

◆実践力向上シリーズ

独立行政法人教職員支援機構HPの「校内研修シリーズ」より「実践力向上シリーズ」で配信されている10分程度の講義動画です。校内研修や自己学習等で活用する際のご参考にしてみてください。

<https://www.nits.go.jp/materials/practical/list.html#usage>

NO.	タイトル	URL
1	授業におけるICT活用 ～ICTを活用した授業改善～：実践力向上シリーズ No1	リンク
2	授業におけるICT活用 ～校内研修の改善～：実践力向上シリーズ No2	リンク
3	プログラミング教育の具体的実践 #1 ～私たちの生活とプログラミングの関係～：実践力向上シリーズ No3	リンク
4	プログラミング教育の具体的実践 #2 ～実際のプログラミングを通じたプログラミング的思考～：実践力向上シリーズ No4	リンク
5	プログラミング教育の具体的実践 #3 ～授業実践事例にみるプログラミング教育の要点～：実践力向上シリーズ No5	リンク
6	プログラミング教育の具体的実践 #4 ～実践からみるプログラミング教育の可能性～：実践力向上シリーズ No6	リンク
7	「実践力向上シリーズ」のねらいと期待：実践力向上シリーズ No7	リンク
8	「探究的な学習の過程」の方法論：実践力向上シリーズ No8	リンク
9	オンライン学習の授業の進め方：実践力向上シリーズ No9	リンク
10	1人1台端末の活用場面について：実践力向上シリーズ No10	リンク
11	1人1台端末を活用した主体的な学びについて：実践力向上シリーズ No11	リンク

4. ロイロノート活用法

◆ロイロノートで成績処理

学期末・年度末の成績評価に役立つ情報が動画でご紹介されています。すべての動画を一括で閲覧できるプレイリストや、個別で各機能をご紹介します動画もあります。

<https://help.loilonote.app/%E3%80%90%E3%82%A%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%96%E3%80%91%E3%83%AD%E3%82%A4%E3%83%AD%E3%83%8E%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%A7%E6%88%90%E7%B8%BE%E5%87%A6%E7%90%86-63734c79aa6d980021914e5e>



◆授業以外の使い方

朝礼や職員会議、部活動等で活用できる便利な機能がご紹介されています。ロイロノート認定ティーチャーによる活用事例で、ロイロ授業フェスで配信されたアーカイブ動画です。

認定ティーチャー 田村直宏 先生 (トキワ松学園中学校高等学校)
校種・科目・単元 ロイロノート・スクール活用法

<https://help.loilonote.app/%E3%80%90%E3%83%AD%E3%82%A4%E3%83%AD%E6%B4%BB%E7%94%A8%E6%B3%95%E3%80%91%E3%83%AD%E3%82%A4%E3%83%AD%E3%83%8E%E3%83%BC%E3%83%88%20%E6%8E%88%E6%A5%AD%E4%BB%A5%E5%A4%96%E3%81%AE%E4%BD%BF%E3%81%84%E6%96%B9-610b80f5c398b900232439bc>

A screenshot of a video transcript or guide showing three key features of the app. Each feature is in a green box with a numbered title and a description. Feature 1: '小テスト' (Small Test) - allows for easy distribution of test answers. Feature 2: '職員会議' (Staff Meeting) - allows for sharing meeting materials. Feature 3: '部活動' (Club Activities) - allows for easy sharing of club activity photos and documents. The background shows a grid of data and a tablet displaying a user interface.

【1】小テスト これだけで、大規模なペーパーレスが実現！
小テストの答えを1枚作成▶カメラ▶送る▶全員
・〈こんな場面で〉模試の解答を配布する

【2】職員会議 「あの資料どこいったっけ？」が解消！
職員会議専用の授業を使う
・「授業の追加」▶職員会議用に作った授業を選択するだけ
・授業の追加方法 (iOS版) について
〈こう使う〉
・日ごとにノートを分ける
・その日の職員会議で配布する資料をPDF化する
・PDFを資料箱にいれておく

【3】部活動 SNSがわりになる！
クラス参加コードを使う
・「授業の追加」▶クラス参加コード
・クラス参加コードについて
・生徒に参加コードを伝えて、入力させる
〈こんな場面で〉
・生徒への連絡
・練習管理
・管理表をロイロノート・スクールのテキストカードで作成▶スクショする▶送る
・生徒が互いの練習の様子を撮影
・シンキングツールを使って練習の様子を整理
・ユニフォームの注文 ←提出箱をつかうと一覧で確認できる (下図参照)

5. Chromebook 機能のご紹介

◆ ChromeOSの診断アプリ

診断アプリの機能があることはご存知でしょうか？こちらの機能ではバッテリー、CPU、メモリなどハードウェアの問題を確認することができます。

操作手順

設定  > Chrome OSについて > 診断 の順でクリックします。すると下記画面が表示されます。

図：バッテリー例
バッテリー



Q. どんなときにチェックをすると良いの？

A. 下記のような場合にチェックしてみてください。

- ・バッテリーの消耗が速くなってきた
- ・動作が通常より遅い
- ・メモリの問題が生じる



◆ 診断カテゴリについて

それぞれの項目にはテストボタンが用意されており、それぞれのリソースに問題がないかをチェックできます。

<バッテリー>

バッテリーの状態に関する情報を確認できます。

【内容】

- ・バッテリーの最大量
- ・バッテリーの状態
- ・サイクル回数
- ・電流

<CPU>

プログラムを動かすために命令を出す部分で、人間でいう脳みそに例えられるパーツです。使用率や現在の動作周波数などを確認できます。

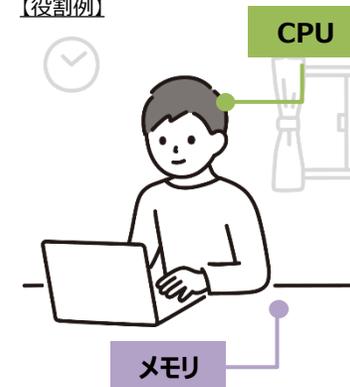
診断時にはグラフの色をみます。
青・・・ユーザーの CPU 使用率
黄・・・システムの使用率

<メモリ>

データやプログラムを一時的に記憶する部分です。よく“作業を行う机部分”と表現されるパーツです。机（メモリ）が狭いと一度にできる作業が限られます。

PCに搭載されているメモリのうちどれくらいを利用しているかを確認できます。

【役割例】



注意： CPUのテストを行うとデバイスの通常使用に影響し、動作が遅くなる可能性があります。
メモリのテストは3つの中で最も時間がかかります。いずれも操作しない時間帯でのチェックをお勧めします。